



浜田市小学校陸上競技大会

5月23日(木)に市内17校の3年生以上(1,266名)の児童が集まり、第14回浜田市小学校陸上競技大会が浜田市陸上競技場で行われました。

波佐小学校からは12名の児童が選手として参加しました。4月から全校で練習に励み、当日は緊張の中、精一杯競技、応援に全力で望みました。2年生は学校から応援をしました。主な結果をお知らせします。

◇3・4年男女混成4×100mR 第2位 記録74秒66(大会新)

◇5・6年男女混成4×100mR 第1位 記録70秒25

◇6年女子800m 第2位 記録2分38秒13



7月行事

2日(火)わかあゆ学級合同学習

ラブック号

4日(木)児童集会

9日(火)個人懇談

10日(水)中学年交流会

手紙の書き方教室

11日(木)花のプレゼント苗植え

12日(金)校外班会

16日(火)大掃除 ムスク掛け

19日(金)終業式 給食終了

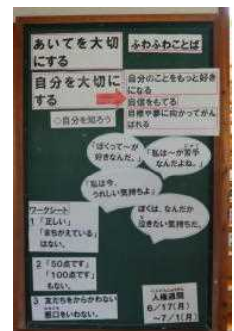
J P貯金

20日(土)親子の集い

30日(火)ラブック号 13:30

人権週間 6/17~6/28

波佐小学校では全校で人権意識を高めるために人権週間を設けています。自分も友だちも大切にするために「自分を知ろう」「ふわふわ言葉のシャワーをあびよう」という活動に取り組みます。



様よりマリーゴールドの苗を頂きました。校庭の花壇に植えて楽しみたいと思います。ありがとうございました。



陸上大会でこんな出来事がありました。

大会の華と言えるリレー。練習を積み、意気込み臨んだレースで思いもよらないバトンミス。残念な思いはあるものの、一生懸命やった結果として誰もが受け止め、拍手で選手を迎えました。子どもたち、そして、担任をはじめとする職員たちには様々な思いがあったようです…。(以下、児童の作文と担任のコメントです)

心の大逆転

今だ！全力でスタートダッシュした。(にげろ、にげまくるぞ。)自分の心に言い聞かせた。少し前にいた弥栄小をぬく勢いで走った。好調だ。そう思ったしゅん間、「コロナ」いやな予感がした。ふりむくと、なんとバトンが落ちていた。(なんてこったあ)好調だった自分が、どん底につき落とされるような気分になった。すぐさま第二走の人がバトンを拾った。そしてぼくの手にバトンがわたった。応えんが聞こえないほど、心ぞうの音が大きくなった。走っているときは、前にいる人に追いつこうと必死だった。それ以外何も思わなかった。いつも走っている百メートルが、なぜか遠く感じた。あせりと追いつこうという気持ちで百メートルが遠く感じたのだらう。最後の三十メートル、(おれの足動け)そう心の中で言い続けていた。自分の力をすべて出し切り、第四走の人にバトンをわたした。

バトンをうまくもらえなかった。そのくやしきで、むねがはちきれそうになった。今すぐ、泣きたいくらいくやしかった。(あそこでうまくバトンをもらっておけば…)自分をせめ続けた。波佐小の応援席にもどりたいくやしなかった。

波佐小のテントに帰った。するとみんな「お疲れ。」「いい走りだったよ。」と逆にほめてくれた。一気に心が温まった。チームのみんなからも「ナイス」「速かったよ」と言ってもらった。本当に波佐小のみんなはやさしいと思った。それに何よりほめてもらったときの感情は今でも忘れられない。

今、リレーの場面を思い返しても、くやしき気持ちはある。けれども、自分をせめることはしていない。むしろ、よかったと思う。なぜなら、全力を出した結果だからだ。今までは、ミスをおそれていた。だけど、今回は全力を出し切れないといういつものトラウマを乗り越えることができた。これは、ふだんにも生かせる最大の成長だ。この陸上大会は、少しくやしい思いが残った。けれどもいちだんと成長できた。ふだんからも、自分の苦手なことにどんどん挑戦したい。



彼の作文を読んだとき、私の目には涙が浮かんでいた。バトンが落ちた瞬間を、私は目の前で見ていた。二人の表情も鮮明に覚えている。作文には、その時の光景だけでは計り知れなかった彼の胸の内が赤裸々に表現されている。波佐小のテントに帰るまでの心は、なんにも激しく揺れ動いていたのかと胸が苦しくなる。しかし、仲間の声に励まされる。その瞬間の表情までが浮かんでくるようだ。安心した。そして、何より救いなのがこの経験を前向きに捉えているところだ。悔しきがないといえは嘘になるだろう。彼もそのことは書いている。しかし本番で「全力を出し切る」という自らの課題を克服したことを、大きな成長として捉えている。作文からは、終始「一所懸命さ」が伝わってくる。心の強さと明るさが伝わってくる。だから胸を打つのだろう。「心の大逆転」すてきなタイトルである。

残念な結果を受け止め前を向くたくましさ仲間を支える強さをもった子どもたちです。こんな素敵な姿に成長してくれている子どもたちと全力で学校教育を支えてくださるご家庭、地域の方に感謝です。そして、子どもたちの心の機微を感じ取り、その姿に感動し、さらなる成長を支えていこうとする本校職員たちを、手前味噌ではありますが誇りに思います。